

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

計画の名称	1 安心して健やかに暮らせるまちづくり																							
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）					交付対象	上野原市																	
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 (事業認可区域においては、これまでに浸水被害の経験は無く、雨水排除について当面、在来の排水施設で充足していると考えられるため、雨水施設を除外し分流式下水道とする。)																							
計画の成果目標（定量的指標）	・下水道処理人口普及率を43.2%(H22)から45.2%(H26)に増加。																							
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人) / 上野原市総人口</th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>43.2%</td> <td>44.2%</td> <td>45.2%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人) / 上野原市総人口	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)		43.2%	44.2%	45.2%	
下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人) / 上野原市総人口	定量的指標の現況値及び目標値			備考																				
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																					
	43.2%	44.2%	45.2%																					
全体事業費	合計 (A+B+C)	369百万円	A	297百万円	B	C	72	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	19.5%															
交付対象事業																								
A1 下水道事業																								
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工程	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考							
A1-1-1	下水道	一般	上野原市	直接	-	汚水	新設	上野原第1処理分区（普及促進）	=200 L=2,624m	上野原市	H22	H23	H24	H25	H26	88								
A1-1-2	下水道	一般	上野原市	直接	-	汚水	新設	上野原第3-5処理分区（普及促進）	=200 L=2,644m	上野原市						209								
小計（下水道事業）																297								
B 関連社会資本整備事業																								
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工程	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考								
											H22	H23	H24	H25	H26	合計								
C 効果促進事業																								
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工程	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考								
C-1-1	下水道	一般	上野原市	直接	-	新設	上野原第1処理分区枝線整備	=150 L=107m	上野原市	H22	H23	H24	H25	H26	8									
C-1-2	下水道	一般	上野原市	直接	-	新設	上野原第3-5処理分区枝線整備	=150 L=1,035m	上野原市						64									
合計																72								
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考											
C-1-1	基幹事業である幹線と接続した小規模な汚水管の整備を一体的に行うことにより、早期の供用開始を計りたい。																							
C-1-2	基幹事業である幹線と接続した小規模な汚水管の整備を一体的に行うことにより、早期の供用開始を計りたい。																							